

危険なオスプレイの危険な低空飛行に反対です。

オスプレイは試作段階で4度墜落し30人死亡

1991年 6月11日・・・試作機の初飛行。離陸時に制御不能となり地上に転覆。2名が軽症。原因は飛行制御装置の配線ミス。

1992年 7月20日・・・着陸時に右エンジンから出火、右ローター動力喪失で墜落。7名が死亡。原因は右エンジンで潤滑油が漏洩し、エンジン熱で発火。

2000年 4月 8日・・・パイロットが飛行制限を越えた降下率で操縦し墜落。19名が死亡。原因はパイロットの操縦ミス。

2000年12月11日・・・計器飛行進入中に高度1600ftで操縦不能となり墜落。4名が死亡。原因は油圧系統、飛行制御コンピュータの不具合など複合的なもの。

構造的欠陥は解決されたとして量産化した・・・



部隊配備後も3度の墜落、原因は不明のまま

2010年4月9日・・・空軍のCV-22がアフガニスタンで任務中に地上に衝突。4人が死亡し、16人が負傷。原因は特定できず。

2012年4月11日・・・海兵隊のMV-22が離陸後にホバーリングから低速飛行を始めたところで墜落。2名が死亡、2名が重症。機体に機械的な不具合はなかったが、詳細は現在調査中。

2012年6月13日・・・空軍のCV-22が南フロリダの訓練場で、転換モードで低高度を飛行中に墜落。5人が負傷。原因は現在調査中。

機体に問題は無くても墜落するなら、それは間違いなく欠陥機

低空飛行では過去に墜落事故も

米軍の航空機はこれまでも各地で低空飛行訓練を行い、墜落事故を起こしています。

1994年 10月 14日 厚木基地のA-6攻撃機が、高知県早明浦ダムに墜落

1999年 1月 20日 岩国基地のF/A-18戦闘攻撃機が、高知県沖に墜落

1999年 1月 21日 三沢基地のF-16戦闘機が、岩手県釜石市の山林に墜落

低空飛行による様々な被害

2011年3月には岡山県で、低空飛行をする米軍機の衝撃波で、民家の土蔵が崩壊する事故が起きました。それ以外にも各地で、ガラスが割れるなどの被害が出ています。

ニアミスの危険も

低空飛行ルートは日本に告知されていません。そのため、民間機とニアミスする可能性もあります。「リムピース」の調査によれば、在米海軍司令部はパイロットに対して、低空飛行訓練では「よく見て避ける」と指導しているとのこと。

連絡先